

1 地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組みの完成について(報告)

【報告】 市民交流部

【質疑等】

- ・ 既存事業については、基本的に推進シートの提出が不要とのことであるが、仮に提出があった場合はどのように対応すれば良いか。
⇒ 既存事業であっても推進シートを作成したいということであればその方向でまちづくり協議会と調整が必要である。案件ごとに個別で対応していただくことになる。
- ・ 推進シートについて、例えばまちづくり協議会の各構成団体から同じような内容のものが提出された場合、協働の取組推進担当次長への情報共有を含め関係課はどのように調整すれば良いのか。
⇒ 年2回室長級職員の意見交換の場を設定する予定であるため、その場で共有していただいても良いが、個別に市民協働推進課にご相談いただいても良い。
- ・ 複数のまちづくり協議会にまたがる内容であった場合、協働の取組推進担当次長が全てを調整することが難しいため、できれば市民協働推進課に仲立ちいただき調整をお願いしたい。
⇒ 推進シートについては一旦市民協働推進課に提出されるため、類似した内容があった場合は意識しながら調整したい。
- ・ 進捗確認シートの評価については事業の規模や項目の大きさによって異なるため、市民協働推進課である程度事業規模等を均等にできると評価にバラつきが出なくなると思う。提出されたものをそのまま受け付けるのか、または、事業の規模等を均等にしよう助言を行うのか等の考えがあれば教えていただきたい。
⇒ 内容のバラつきの確認やバランスの調整は市民協働推進課でするつもりである。公表する中でそれぞれのまちづくり協議会が切磋琢磨できればなお良いと思っている。

2 第2次宝塚市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)及び第2次宝塚エネルギー2050ビジョン(案)に係るパブリック・コメントの実施結果について(報告)

【報告】 環境部

【質疑等】 なし

3 宝塚市水道事業経営戦略中間見直し(案)及び宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し(案)に係るパブリック・コメントの実施結果について(報告)

【報 告】 上下水道局

【質疑等】

- ・ 水道事業経営戦略に対する意見NO. 8にもあるように、小林・亀井浄水場の跡地の活用について、一部でも収入が得られるような取組はできないのか。
⇒ 全撤去で約4.6億円、地下1mまでの部分撤去で約1.4億円の費用を要するため、現時点では部分撤去を優先的に検討していきたいと考えている。地域からは駐車場経営の助言をいただいているほか、現在利活用を希望する事業者とも協議を進めているところである。
- ・ 下水道事業会計について、令和3年度の一般会計からの基準外繰出しはいくらぐらいを予定しているのか。また、令和4年度はどうか。
⇒ 令和2年度は資本費の4.4%相当額を基準外繰出しとして支出していたが、令和3年度は収支均衡となるほどの額を予定している。結果としては資本費の2.5%程度になる見込みである。令和4年度については未定であるが、阪神間において基準外繰出しを行っている市町が無いこと等も踏まえて、今後慎重に議論していく。
- ・ 令和元年度は下水道事業に都市計画税を6.2億円充当していた。将来的には新ごみ処理施設等への充当を予定していると思うが、都市計画税の充当について今度どのように考えているのか。
⇒ 都市計画税については都市計画決定を受けた事業に充当するが、新ごみ処理施設を優先的という訳ではないため、他の都市計画事業にも計画的に充当していきたい。
- ・ 昨今の気象状況を考えると、下水道の計画的な修繕・改修は必須であると思うが、今後どのように行っていくのか。
⇒ 下水道の管路更新計画やストックマネジメント計画に基づき、優先順位が高いものから順に計画的に更新している。
- ・ 下水道事業経営戦略において、令和4年度以降の基準外繰出しはいくらぐらいを見込んでいるのか。
⇒ 下水道事業経営戦略上では、従前の資本費4.4%相当額の2割減を想定している。